拓水

8月号
No. 287

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区中の島2の2の1
発行人　兵庫県漁業協同組合連合会
会長理事　山田岸松
TEL　681－6954～7
一部　10円

育成水面を設定
御津町3漁協

クルマエビを対象に
四〇〇万尾、一二〇〇ヘクタール

このたび兵庫県では、御津町3漁協（室津・岩見・室津漁協）が昭和55～59年度にわたり設定する特定水産動物育水面において、クルマエビを対象とする特定水産動物育成事業を実施することになりました。

初年度の55年度は

① 6月7日、栽培漁業協会志布志事業場からクルマエビ種苗400万尾受入、育成水面内2ケ所で囲網による中間育成後放流。

② 定期的な試験操業により放流クルマエビの追跡調査。

③ 育成水面周辺におけるクルマエビの資源生態および漁業に関する調査。

④ 同海域で漁獲されたクルマエビの標識放流。

等を実施しています。

なお、育成水面周辺におけるクルマエビの移動・分散を主目的とした④の標識放流については、すでにチラシを周辺漁協に配布し、御協力をお願いしておりますが、本事業の趣旨を御理解のうえ、特にこの紙面を借りて、再度御協力をお願いします。

み霊よ安らかに高野に眠れ

第五回兵庫県漁民物故者合同供養祭が霊地高野山で厳粛に開催された。

本県水産業は戦後幾多の困難を乗り越え、今日では全国有数の水産県として発展を遂げてきた。

この陰には漁船海難物故者並びに水産業発展に努力されつつ業半ばにして物故された方々の尊い布石があったからに他ならない。

この尊い犠牲となられた数多くの霊を合祀し、その遺績を子々孫々まで顕彰し、永代に供養すると共に、本県漁業の振興発展を一層精進することを主旨として、昭和五十一年四月九日に供養塔が開眼して、今年で早や五年を迎えた。

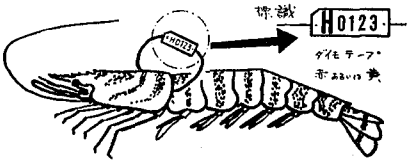
炎天下青空の下、時折り流れる涼風を背に祭事は午前十時、山田会長の供養祭開催の挨拶で始まり、新たに本年度二百三十三柱の霊が合祀され、供養塔の中に先祖諸氏と供に永久にこの霊験地高野山奥の院に安らかに眠ることとなった。

各関係代表並びに遺族の方々により焼香が焚かれ、正午過ぎ全漁連生明次長の追悼のことばにより本年度供養祭が終了した。

本年度物故者二百三十三柱の内訳は、組合員百九十六柱、婦人部三十五柱、系統一柱であった。

栽培漁業の推進

沿岸漁場の生産を増大するため、最近事業化の段階に入ってきた栽培漁業について、ひとつのルールをつくろうというのが特定水産動物育成事業です。そのねらいとして、



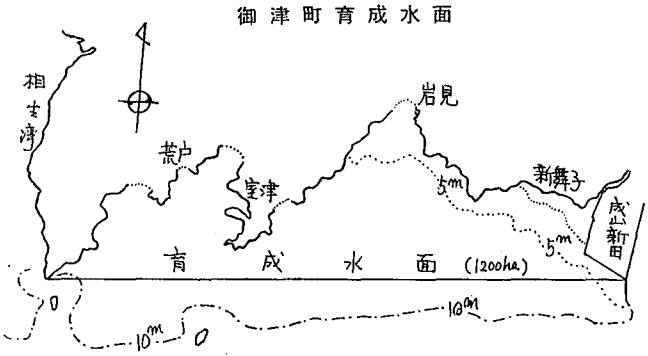
クルマエビ放流後の移動や分布を調べるため七月八日、揖保郡御津町地先で標識放流が実施されました。

採捕された方は次の五つの事項を県水試、姫路農林水産事務所、もしくは、もしくは、もよりの漁協までご連絡下さい。（お知らせ願いたい事）

(1) 採捕場所
(2) 採捕年月日
(3) 標識の色、番号
(4) 採捕漁具・漁法
(5) 採捕者の氏名、所属漁協

※お知らせいただいた方には粗品を差し上げます。

御津町育成水面



総合的指導体制の確立
―のり養殖安定対策―

のり養殖経営の安定と生産力向上を目的に昭和55年度兵庫県のり養殖安定対策協議会総会（会員・官公庁二三、漁協二一）が七月二二に開催され、新しく高野（神戸市漁協）、町田（岩見漁協）の三氏をメンバーに加え今年度のり養殖にむかってスタートをきった。

同総会で今漁期ののり養殖指針を協議、県下のり養殖が恵まれた漁場環境と生産者の旺盛な意欲で全国屈指の生産県となったと評価しながらも、生産、経営面には不安定要素があると指摘している。

その要因として、生産面での漁場行使や養殖管理の問題点、地種網普及率、病害や色落ち対策をあげている。

経営面では大型全自動加工機の導入による資金需要の増大を指摘している。

同協議会ではこれら問題点の解決を図るため、行政研究機関、業界が一体となった総合的指導体制の必要性をとく一方、昭和55年ののり養殖指針を基本施策として、県下のり養殖を将来にわたって安定したものにしたいとしている。

同協議会で決定されたのり養殖指針は、のり種網自給体制の確立、漁場の生産力の安定と品質の向上、経営の合理化を目指すものである。

生産指導方針を決定

のり養殖の安定をはかろうと、県のり安対協では55年度養殖指針を決定したが、これをうけて、今期ののり養殖に向けての産指導方針が決定された。

兵庫ののりの名声を一層たかめるため地種網生産の推進や品質向上に力を注ぐこととしている。このため、地区毎の特色ある生産指導を行なうというもの。

同協議会では、これら問題点の解決を図るため、行政すなわち

① 特定水産動物育成事業の実施水面である。

② 排他的独占的な水面というものでなく。

③ 漁業協同組合の管理可能な地先水面に限られます。

で、地区毎に組織的なのり養殖を実施するための基本的な指針で、つぎの九項目からなっている。

(1) 漁場行使に関すること。
(2) 採苗に関すること。
(3) 育苗に関すること。
(4) のり種網の冷凍に関すること。
(5) 移植網に関すること。
(6) 養成管理に関すること。
(7) 冷凍網の出庫に関すること。
(8) 病害対策に関すること。
(9) 本方針実施上の処置について。

また、県下6地区に設置されている地区協議会の推進によってのり養殖を安定したものにしたいとしている。

＜系統団体の動き＞ 7月

二日　石油職員協議会（県漁連）
専務参事会
三日　全国漁協金融推進大会
山陰地区漁保協議会
四日　漁業共済推進協議会
五日　国際協同組合デー
八日　但馬海区漁調委
十日　購買推進委員会（県漁連）
販売推進委員会（県漁連）
十一日　のり安定対策協総会
十四日　役員会（信漁連）
十五日　海区漁調委員会
十六日　漁業共済査定研修会
十八日　漁保ブロック会議
のり安定対策協議会（県漁連）、瀬戸内海水産開発協議会総会
十九日　漁青連総会
二一日　物故者合同供養祭
公害基金県監査
二二日　温排水調査（アメリカ）
基金協会県監査
二三日　但馬漁保ブロック会議
三十日　ニチモウワンマン研修会（県漁連）

× ×

漁村における福祉の現状と問題

重要かつ緊急に実施すべき施策

〝既存社保〟の充実改善

現行社会保険制度の利用の徹底

現在、社会保険制度のうち公的年金については、国民皆年金の制度にもかかわらず、いまだ公的年金制度に未加入の漁業者のいることが調査により明らかになっている。これらの未加入者は地域によってかなり偏在しているのが実情である。一方災害、病気などの対策として、国民健康保険、労災保険等公的制度があるが、これらについても、全体としての利用率は半数に満たないことが調査によって明らかである。これらの最大の理由としては、こうした既存の公的制度を漁業者が十分に理解していないことがあげられる。このため系統としては、漁業者が既存の社会保険制度を最大限利用することで、等しくその恩恵に浴するよう、これら制度の啓もう普及に最善の努力を尽す必要がある。

とくに国民年金については五十五年六月までの保険料の特別納付措置の特例に留意し未加入者の加入促進をはかることが肝要である。

船員保険等の改善要求

船員保険は、漁業者の加入できる制度としては、かなり整備されたものであるが、一方では、船員保険適用漁船に乗り組み、被保険者である乗組員と同等の労働条件におかれているにもかかわらず、加入を厳しく制限された船主およびその家族が、相当にのぼることが調査でも明らかにされた。また漁船漁業の操業の特性上、季節的、一時的雇用者の乗組員が多いのが現状であるが、これらの乗組員については、陸上の雇用労働者のような短期雇用特例措置による雇用保険適用のような制度もなく、船員保険の失業部門の適用が制限されている。このため、船員保険に船主およびその家族が加入できるよう、また、雇用保険での短期雇用特例措置に値する制度が導入されるよう、強く働きかけていくとともに、現行制度のわく内での解決策についても具体的な検討を早急に進める必要がある。なお船主およびその家族への船員法適用拡大要求も早急に取り組まれなければならない問題である。

高齢者対策の推進

漁業者の年齢構成は年々高くなり、昭和五十年を境に、全漁業従事者の七割以上が四十才を超え、高齢化傾向は憂慮すべき事態に至っている。一方漁業者の老後についての対策は、年金をはじめ未整備であることは否めない事実であり、漁業者自身、老後生活への不安を抱く者が少なからぬことが明らかにされている。こうした現状を踏まえ、系統として早急に

よっては、労働災害上の観点から労災保険への特別加入ができるよう制度改正の要求も進めるべきである。

次代を担う後継者

世襲に一因も

漁業者の年齢構成は年々高くなっている。一方漁業者の老後についての対策は、年金をはじめ未整備であることは否めない事実であり、漁業者自身、老後生活への不安を抱く者が少なからぬことが明らかにされている。こうした現状を踏まえ、系統として早急に取り組まれなければならない問題であるが、その際とくに留意すべきことは、漁業者のライフサイクル（生涯設計）を地域や漁業形態に応じて、明確にはあくすることである。調査でも明らかになったが一般に漁業者は、働くことに生きがいを抱き、漁業に従事し続けたいと考える者も少なくない。このため系統としては漁業のライフサイクルを十分考慮したうえで、老後の労働の場を確保、育成していくことが重要である。すなわち高齢者のための沿岸漁場の確保および整備、また陸上作業の確保および整備、また陸上作業としては、水産加工、漁具修理等、さらに漁業に関連した観光事業など老人向けの労働の場を積極的に拡大、充実させていくべきである。またこうした労働の場とは別に、漁業者の

半の漁業者は、働ける間はしかも漁業関係の仕事に生涯従事していたい、としているのである。こうした漁業者の意識の内には、生活のために働くというのが主な理由ではあるが、他方で働く意向を持っており、漁業技術や、長い間の体験を後輩に伝えていきたいとする者も多いため、若者への技術研修あるいは相談役として生かしていく等の機会をつくる必要があろう。

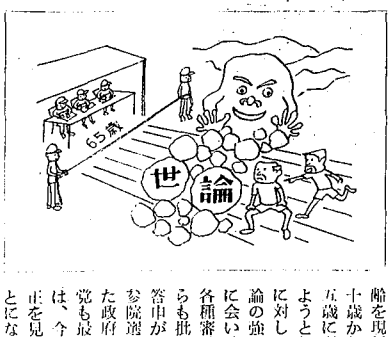
後継者対策の強化

漁業の後継者問題は、いまや漁業者の最大関心事の一つとなっているが、大半の漁業者が後継者も決まらないまま、将来への不安感を抱いているのが現状である。後継者難の原因として漁業労働の時間的不規則、労働の質の問題、また生活の場である漁村での生活環境が、都会のそれとかけ離れているといったもろもろの問題があることは、よく指摘されることである。しかしながら、こうした問題のほかに、若者自身が漁業そのものに魅力を感じないことと、他方、現在の後継者そのものを、世襲によってのみ考えられていることにも原因があると思われる。このため、今後は地域のもつ漁業生産力を十分考慮したうえで、開かれた漁業を目指すことが重要である。すなわち、漁業が旧来からの、量の重視、その場限りの生産といったものから、地域経済の中での産業としての位置づけを明確にし、計画的、安定的、それに内容、すなわち質への重視へと転換することによって、より合理性のあるものにする必要があろう。このために、系統運動としては、地域ごとの長期展望に立った計画の樹立や、労働環境の改善など、若者の目を向けさせるべき、積極的な対策を講じるべきである。

（次号につづく）

× × ×

年金の話題



厚生年金

65歳支給は見送られたが…

昨年、農林年金の六十五歳支給への法改正が組織内に大きな話題を投げかけたが、今年は、年明け早々から厚生年金の六十五歳支給問題がマスコミを賑わせることとなった。周知のように、政府が年金財政の将来を考慮して、厚生年金の支給年齢を現行の六十歳から六十五歳に引上げようとしたのに対して、世論の強い反対に会い、また各種審議会からも批判的な答申が出され参院選を控えた政府・自民党も最終的には、今回の改正を見送ることとなったものである。

▽ところで、この六十五歳支給問題は、今日の年金問題の難しさを象徴しているように思われる。

年金受給者も増え、年金制度が国民の中に定着してきたこのごろであるが、さて今後の年金制度のあり方について検討を行なってきた審議会等の意見も、できるだけ将来の負担増嵩を避けるため、年金の支給年齢は六十五歳とするべきだとして、応の意見の一致をみているところである。

厚生年金の六十五歳支給への動きは、このような背景をもとにして出てきたものである。

▽一方、年金を受ける側とすれば六十五歳への支給延期は大きな問題である。定年年齢が六十歳にも達していない社会的現状の下で、年金支給だけを延期されてはたまらないというわけである。

世論もこの立場から強い反発を示した。世論の反対理由はもう一つあった。公務員の年金や農林年金などいわゆる共済年金は、つい先日、支給年齢を厚生年金と同じ六十歳に引き上げて、その格差が解消されることとなったばかりなのに、再び格差を設けるのはけしからんという年金の官民格差批判である。

▽いずれにしても厚生年金の六十五歳支給の改正は見送られた。世論が勝った形で騒ぎは終わった。厚生年金が六十五歳支給となれば、共済年金も同様にすべしとする世論が強まるかもしれない。それが避けられたことで我々もホッとしている。しかし、問題はなんら解決したわけではない。ここに今日の年金問題の難しさがある。

このまま放置すれば、将来、保険料を負担する人々の肩の荷がずっしりと重くなり、果たしてその負担に理解と合意が得られるだろうかという心配である。次第に充実してきた年金の水準を維持しながら一方では極端な負担の増大を避けながら年金制度を健全に運営してゆくことの難しさを痛感するこのごろである。

つめ草

夏休みは上手に

子どもだけでなく、大人の世界でも夏休みの所が多くなった。しかし、休み下手で有名な日本人は、せっかくの休みを台なしにしてしまうケースが多い。いったい人間にとって、休みとはなにか、なぜ必要なのか――について玉川大学の日名は教授の話をきいてみよう――

「だいたい、人間の精神や身体にはリズムがあって必ず周期がある。もちろん、その周期は人によって大きな差があって、あの人の息は長く、またある人はきわめて短かい。いくら息の長い周期の人でも、休まず活動、つまり働き続けていると、しだいによい案が浮かばなくなったり、活動がにぶくなったりしがちなものだ。そこで『ここらでちょっと、一休み』が必要になるわけ。ただ、この休みというのは、全く活動しないということではない。前の活動と全く質の違うものであればそれが休みになる。

有名な作家の中には、二つの顔を持つ人、つまり別にりっぱな本業をもっている森鷗外、条件反射理論の木々高太郎、経済学者南条範夫など、あげればきりがない。作家としてはもちろんだが、いずれもおのおのの本業の分野でも一流であるのは、この人たちが例外的な存在であるといってしまえばそれだけのことだが、やはり二つの顔という表現のほうが正しいといえる。

つまり、全く異質な仕事だからこそ、できるのである。休み、休息とは、完全な休止を意味するのでなく、平素の活動と全く別の世界で活動することに意味があるのである。

仕事（労働）と異質な遊びは、たとえそれがスポーツのような肉体的には活動するものであっても、休息となる。したがって、遊べない大人は、休息を知らない大人ということで、そのような人の仕事は、たとえよく働いているようでも、案外程度の低い、質の悪いことに終わる場合が少なくない。

日本人はおおむねこのようなタイプに陥りがちだから、お互い用心したいものである」

〝電波は正しく使いましょう〟

9・1～30は一掃月間

無線機は免許を受けて

トランシーバー（無線機）を使うときは、無線局の免許を受けないで各人が自由勝手に電波（不法電波）を出すと、免許を受けて正しく使っている無線局の通信やテレビ・ラジオの受信を妨害してみんなの迷惑になります。

販売業務、サービス業務運送業務などを行うために自動車や事務所に無線機を設置して簡易な事務の打合せまたは連絡を行う場合でも無線局の免許が必要です。

ハイパワー市民ラジオの使用は違法です

ハイパワー市民ラジオと呼ばれる強力で多くの電波（23チャンネル、40チャンネル、46チャンネル等のトランシーバー）が発射できる無線機は、無線局の免許申請をしても免許を受けることはできませんので、無線機を買うときに注意してください。**ハイパワー市民ラジオを使用したり、免許を受けないで電波を発射すると処罰されます。**

無線機器型式検定合格マーク

他人の通信の傍受盗用は禁じられています

無線局は、多数の人が使っていますが、他人の無線局の通信を聞いて漏らしたり、盗用すると処罰されます。

免許を与えない場合（電波法第四二条）

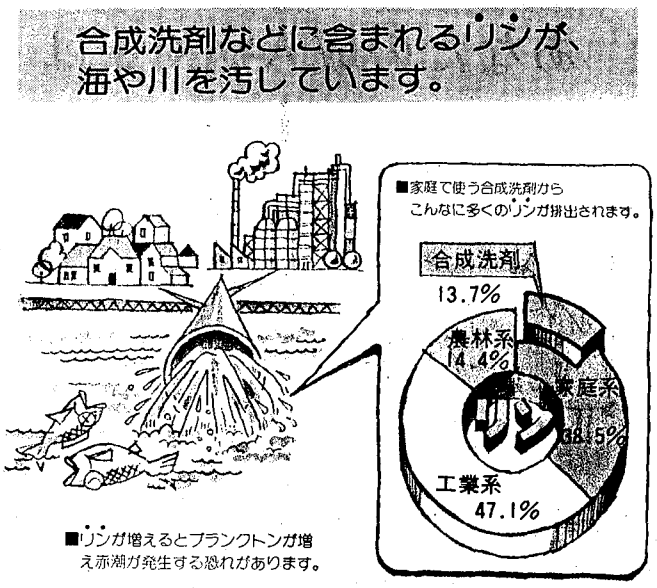
電波法の違反の罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その施行を終り、またはその執行を受けることがなくなった日から二年を経過しないもの。

ハイパワーの市民ラジオを使用して摘発された場合はこれに該当します。たとえ講習を受けて合格しても二年間は免許がもらえません。充分に注意して下さい。

皆んなの迷惑になる違法のハイパワーの市民ラジオの使用は今すぐやめましょう

不法電波をなくすために

市民ラジオなどの無線局の免許または無線従事者の資格の取得についてのお問い合わせやテレビ・ラジオの受信障害があったときは、最寄りの地方電波監理局に連絡してください。



漁協一代（その九）

作花英治

製氷所建設（二）

その中三月には川端竹蔵組合長は勇退して瀬間になり、訓谷の永田博氏が第五代組合長に就任した。永田氏は当時村役場の書記であったが訓谷地区の地主でその頃そうした門閥の若旦那らしく頭の冴えた利け者であった。漁業者の中に人材が無かったわけでもなかったろうが、借金返済に夜も日も働き続ける漁師生活では、到底その時間的余裕が無く、組合長という要職はまだ非漁民層から出さざるを得なかった。つまり漁民の経済地位、社会的地位はこと程左様に低かったということができる。

永田さんはやり手であった。組合が単なる漁業権管理機能から、漁村経済の中枢に移行する動きを、共同販売事業の定着からいち早く察知して、組合運営の近代化に着眼、実質上の組合運営機関として変則的ではあるが、理事会機能を果しつつあった共同販売所運営委員会をフルに活用し、製氷所の建設を提案した。旧漁業法はまだ組合に正確な経済事業を許容せず、単に共同販売斡旋共同購買斡旋という形で経済行為を認めているに過ぎなかった。製氷所は購買事業の拡大解釈で適法行為とされ、農林省には漁業用製氷設備を組合がなすときは四〇％の補助金を交付する制度を開いていた。隣接香住漁業組合では一年早く設備に着手十屯製氷を完成させ、昭和九年には既に稼動させていた。飛て柴山港の漁師達は、漁場の沖合化により鮮度保持の必要性が高まり、冬季積雪を冒って使用したり、ようやく出来上った貯氷窟の移入氷を使用していたので製氷所建設には原則的に異議は無かったが、あわよくば氷の使用を出来るだけ少くすませたいという目前の打算もたしかに存在した。組合長は底曳船主から年間一隻当り最低三屯は組合氷を積込むという誓約書を提出させ、五屯製氷の建設に着手したのである。先づ原料水は上計部落から誘水することとし、水利権者上計区との契約は製氷所が一日壱百石（二〇〇立方米）を取水する代り、上計簡易水道のために、六百石貯水槽建設費の六〇％を組合が負担するという内容であった。

上計部落も組合製氷所建設を期に、従来の原始的簡易水道を抜本的に近代化できたのである。原動機は動力線が遠距離を走っているため、ディーゼル機関が採用され、工事は隣接の香住を施工した、当時凄く製氷工事メーカーとして世に知られつつあった東京木下商会に発注（参万壱千参百円）水道工事は日高町の熊田工務店に施工させることになった（四千壱百拾壱円）。事務手続きは組合長が直接担当。私はよく役場に呼ばれ書類作成を手伝わされたがガリ切りが主な仕事であった。当時の法規では製氷所の建設には次の手続きが必要であった。

一、漁業用製氷設備奨励金交付願（大臣）

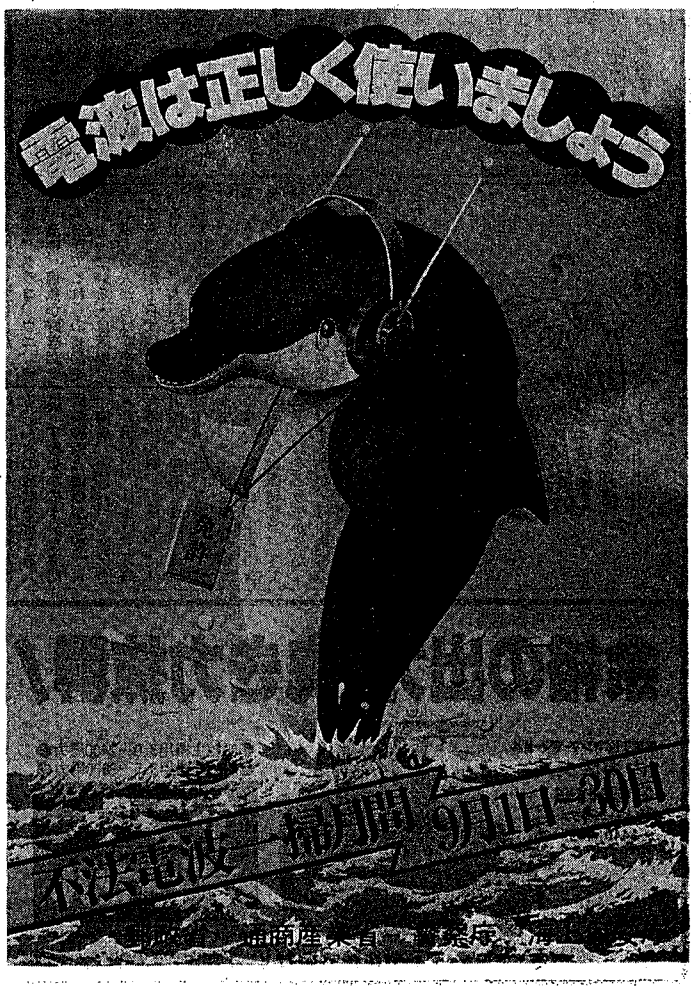
二、原動機据付製氷工場設置許可願（知事）

三、氷雪製造販売営業認可願（知事）

四、製氷原料水送水管理設にかかる県道占用許可願（知事）

これ等の原議起案は容易のことではなかったがさすがに役場事務に長じた組合長は全部一人でやった。しかし全く大変であったと思う。相当研究して作成した書類が何回も符箋却下され、それを修正再提出、農林省や県庁名課担当者との往復文書など当時の書類綴を見るとき今は亡き永田組合長（昭和四十七年三月五日没）の若がりし頃をその筆跡に偲ぶことができ併せて私の組合駆け出し時代の幼稚な筆跡をなつかしくみつめながら当時を思い出すことができるのである。竣工式は翌昭和十年六月某日に盛大に行われ、県より水産主務課（当時商工課）から物部薫郎課長が杉本五六水産主任技師同伴で臨席したが、そのときの課長の上衣のポケットから、その頃世論轟々たりし美濃部達吉博士（前東京都知事美濃部亮吉博士の父）の「天皇機関説」をめぐる記事のタイトル鮮かな週刊誌がのぞいていたこと。杉本技師が河口技術員に「君この砕氷機で一屯の氷をどの位の時間で処理するのか」と質問したのに対し「ハア一時間位かかるでしょう」と答えたのを傍に居た工員が「公称能力は一時間十屯ですが実際は一屯に十分位はかかります」と説明したので、河口氏の先輩である杉本技師が「河口の馬鹿」と苦笑し河口氏がうしろを向いてペロリと舌を出したことの二つだけが私の記憶に鮮明である。氷に対する漁業者の認識は徹底し、漁船は積極的に氷を使用、魚価維持の関心は高まり、氷があまるという組合長の懸念は杞憂に終った。かくて漁業経営の近代化は一歩前進したのである。

以上が柴山漁協の製氷事業の嚆矢である。なお販売所への氷運びの苦役が解消したのもこの時であった。（つづく）



あなたの成人病対策は十分か

近年医学への関心が高まってきたが、政府要人の死去によりこの傾向は急速に強くなった。人間ドック希望者がふえたのはその現れである。さて、みなさんの成人病対策は十分だろうか検討してみてはどうか。

「両親に高血圧がみられるか」「片親のみ高血圧がみられるか」「家系に八十才以上の長寿者が多いか」「家系の医学的調査をしたことがあるか」「家系に癌が多いか」

両親とも高血圧のとき子ども四人中三人に高血圧が現れ、片親のみ高血圧のとき半数の子どもに高血圧が現れるという。このような場合子どもは二十才代からの血圧チェックが必要になる。あなたの将来は家系に伝わる遺伝によりほぼ決定される。したがって、昔までさかのぼった詳しい医学的な家系の死因、病気、死亡年令を調査すべきだ。癌多発家系があるが、両親に癌が発生したらその子どもは癌発生を予期して十分な検診が必要となる。

「快食・快眠・快便だから健康だ」「漢方薬・強精剤・保健薬を飲んでいるから健康だ」「特殊な健康法をしているから健康だ」

健康の定義を自分で勝手に決めて、全く健康診断に無関心な人の中から生死に係わる事故が発生している。感覚的な健康感と内臓の健康とは必らずしも一致しないのが実態である。

「医学的検査で病気を発見されるのが恐ろしいので検診を受けない」「集団検診は毎年受ける」「ときに人間ドックに入る」「毎年人間ドックに入っている」「検診の後で胃カメラや大腸の精密検査を指示されても受けない」

理想は人間ドックに毎年入ることだ。過去十カ月のうちに早期胃癌が三名発見された例があるが、いずれも定期検診であった。恐ろしいから検査を受けない人は、進行して転移の進んでしまった癌で生命を失う方向に進んでいると考えるべきだ。四十才から定期受診が望ましい。集団検査は大切だが胃のX線診断の欠けたものではその価値は半減する。検診で精密検査を指示されたら必らず受けることだ。重大な病気はそれらの集団に多発するからだ。

「検診でいろいろと指導を受けるが実行に移せない」「タバコを二十本以上吸っている」「酒は日本酒三合以上、またはビール三本以上、ウイスキーダブル五杯以上飲んでいる」「タバコと酒両刀使いである」「肥満症の指摘を受けたが減量できずにいる」「夜は毎日午前様だ」

このような人たちは嗜好もさることながら、命がけで働いているようだ。精神的に疲労したからだと癒すための特効薬が酒でありタバコであり、豊かな食事なのである。そして糖尿病、痛風、脳卒中、心筋梗塞、肝硬変症に向って好んで前進していく。したがって、仕事よりも健康を優先して、より人間的な方向にむけて仕事、生活を改善しない限り特効薬を減らすことは不可能に近い。深酒とヘビースモーカーが重なると、癌その他重大な病気が発生しやすい。身長（センチ単位）から一〇〇を引いた数に〇・九をかけた数字がその人の標準体重で、これに近づくほど寿命が長くなる。

「天ぷら、フライなど油の多いものをよく食べる」

最近、主食をたくさん食べる人は少ないが、油を多量に含んだ料理を食べて痩せられないとなげく人が多い。減量のヒケツは油料理を半分に減らすことだ。

「塩辛、タラコ、ウニ、佃煮、漬物、塩魚が好きだ」

高血圧でこれらの食品を毎日とっている人は落第。この多くの人たちは薬を飲んでも血圧が下らず悩んでいるようだ。人間は塩分をとらずに生きられるそうだ。欧米では五―八グラムというのが常識。日本では二十グラム以上の地域が多い。塩分が十グラム以下になると、脳卒中は死因の第一位の座を離れるはずだ。高血圧には薬よりも塩分制限を優先すべきだ。アメリカでは降圧剤の副作用が問題視されている。血圧のコントロールが良好だと脳出血、脳血栓、心筋梗塞は非常に減ってくる。

「コレステロール三〇〇ミリ以上、中性脂肪二〇〇ミリ以上、HDLコレステロール五〇ミリ以下の人は要注意」

コレステロールの高い人、HDLコレステロールの低い人は急いで心電図、血圧を受けてほしい、冠動脈硬化が進行しているかもしれない。中性脂肪の高い人は糖尿病の検査である糖負荷試験が必要。この値は糖尿病の程度に比例する。一方肝機能検査データーに異常があるかもしれない。

「尿酸値がハミリ以上で肥満している」

こういう人は痛風、心筋梗塞の危険が大。

「あなたは完全主義か」

なんでも自分でしないと気がすまない、疲れていても決められた仕事を終えるまで眠らないというタイプはうつ病になる可能性がある。

「次の症状を訴える人は、すみやかに十分な専門医の診断と治療が必要」

胸痛、息切れ、どうき（心臓系）。はきけ、胃痛だるい（胃、肝臓系）。体重減少、腹痛、腰痛、貧血血便（大腸、直腸の癌）。セキ、タン、血痰（肺癌）。めまい、脳貧血、手足のシビレ（脳動脈硬化）。さて医学知識をどう生かすか、実行するかが、健康維持の鍵である。

村田純一郎
（保健同人診療所長　医学博士）

漁船員安全シリーズ ⑭

安全衛生点検要領
甲板作業場所の環境、設備

(1) 整理・整とん

◎対象＝ロープ、ワイヤ漁網、漁具、ボンデン、竿類、ラジオ・ブイ、魚倉蓋、差し板、漁撈資材船用品など。

◎チェック

・廃品の処理はしてあるか…燃え易い廃棄物は、防火性のふた付きの容器に収める（油の浸みたウエス、切粉など）

・廃品の処分はよいか…陸揚げなどによる。

・作業に必要でないものの整とんはしてあるか。

・作業及び通行のじゃまにならないように片付けてあるか。

(2) 格納（収納）

◎対象＝甲板・漁撈作業用具、小さな部品、刃物類など

◎チェック

・所定の場所にきちんと置いてあるか。

・取り出し易い場所であるか。

・格納箱は設けてあるか…刃物類や小部品を入れ、場合によっては施錠する。

(3) ラッシング（固縛）

◎対象＝漁網、漁具、漁撈資材（魚箱、カートン・ケースなど）ドラム缶漁獲物など。

◎チェック

・船体動揺による移動などに対して、崩壊、落下転倒しないようにしてあるか。

・ラッシングは確実にしてあるか。

・重量物は固定の台か、ダンネージの上に置きワイヤで固縛してあるか（重量を明示しておく）

(4) スリップ防止

◎対象＝作業甲板、水はけの悪い甲板（スカッパー通りの悪い場所）ウインチ・デッキ、タラップなど。

◎チェック

魚のぬめり、魚油、機械油などは取り除いてあるか。また、むしろやおがくずなどを散布してあるか。

・保護甲板には、きざみ目を施してあるか。

・木甲板には、すべり止めの桟を取り付けてあるか。

・鋼甲板には、すべり止め（きざみ目）が施されているか、またすべり止めペイントを塗装してあるか。

(5) つまづき防止

◎対象＝甲板突起物（アイ・プレート、デッキ・リング、エヤパイプなど）床面を遮っているパイプ、突出しているバルブ、床面の段差、凹凸の個所など。

◎チェック

・突起（出）物には、目立ちやすい色（黄色など）が塗ってあるか。

・パイプ類にはカバー（またぎ橋や踏切板）が設けられているか。また警戒塗色がしてあるか。（黄地に黒の斜線のトラマーク）

・その他つまずきやすい個所の周縁にも警戒塗色がしてあるか。

(6) 転落防止

◎対象＝ハンドレール、タラップ、ブルワークなど。

◎チェック

・腐しょく、破損個所はないか。

・手すりを取り外している場合は、注意標識を掲げているか、もとに復旧したときには安全確認を行っているか。

・ステップのすべり防止措置はしてあるか（油・水の拭き取り、すべり止めの取り付けなど）

(7) 構造物との衝突防護

◎対象＝甲板構造物（ハウス周辺やギャロスなど）に取り付けてある装具類（ブロック、ローラー、クリート、アイ・プレート）や、出入口の上縁、下縁。並びに頭がよく触れるカーテン・プレートの下縁など。

◎チェック

・注意標識または警戒塗色がしてあるか。

・頭の触れる個所には、緩衝物（ゴムや帆布などで作ったもの）を取り付けてあるか。

(8) 照明設備

◎対象＝作業灯、移動灯通路灯など

◎チェック

・安全作業に十分な明るさか。

・作業中、まぶしさを感じさせない位置と構造か

・器具、配線の損傷、汚れ、障害物はないか。

(9) 換気設備

◎対象＝げん窓、天窓（スカイライト）通風孔通風筒、換気扇、給排気ファンなど。

◎チェック

・蝶ねじ、ダンパーの作動はよいか。

・金網の目ずまりはないか（ゴミやペイント塗装による）

・給気、排気口周辺に空気流通の障害になるものはないか。

一滴の燃料を生かす確かな技術
余裕の出力、曳き力抜群！
船用主機ヤンマーディーゼル
〈内海底曳用〉
3EH15
（定格15馬力／1440回転）
●船舶主機用3.0～2400馬力●
●船舶補機用3.5～3600馬力●
ヤンマーディーゼル
●詳しいカタログをお送りします（本社宣伝部）まで。
ヤンマーディーゼル株式会社
（本社）大阪市北区茶屋町1番32号（〒530）TEL（06）372－1111（代）－
（支社）東京（支店）札幌・名古屋・大阪・高松・広島・福岡（営業所）仙台

いすゞ
マリンエンジン
UM06BBIB
高速への挑戦！
特長
1.小型、軽量、高出力
2.卓越した耐久性、信頼性
神戸いすゞ自動車株式会社
〒658 神戸市東灘区住吉浜町17
TEL（078）811－1171㈹

子供たちに潮の香りを

淡路で水産青少年教室開講

「海はヨォー、海はヨォー、でっかい海はヨォー」ではじまる親父の海を子供達に提供しようと、淡路地区漁青連（井村春夫会長・四九四名）が淡路に住む小供達を対象に青少年水産教室をひらく。

同連合会では二年に一回県下の水産業のP・Rをかねて水産の実態を多くの人に理解してもらおうと珍企画を実施してきている。

今回は「イワシの無料配布」につづく第二弾で、子らおうと「地曳網漁業実習」を行なう。また、とれた魚は賞味する前にちょっとおあずけして、図鑑を片手に「魚類検索実習」にとりかかるとか。

期間は七月二〇日から八月三一日までの休漁日で、淡路島周辺の砂浜地帯で行なわれる。

実習用の網はそで丈四〇間、袋網八間の特別注文品で徳島県引田で仕立てられたもの。

同連合会では、市町村にある子供会に働きかけ、たくさんの子供達が参加できるようにとP・Rにつとめている。

第一回は炬口子供会（二〇〇名）が炬口の浜で実習することとなっている。同子供会でも「夏休み中に子供達が自然にふれるチャンスが増えた。」と大喜び。

机上の学問では学べないことを実習で学び、一人でも多くの水産少年が育ってくれることを同連合会では期待している。

シラサエビ

年末には商品に

兵水試と摂播漁協青年部の協力で

クルマエビの種苗は兵水試を中心に年間三二〇〇万匹が生産、放流され、年々効果があがっている。これに加えて今年はシラサエビ種苗が西播地区地先を中心に放流されることとなった。

〝適種適地〟の種苗放流の実現をめざしている県播漁青連では「地区によっては、大きくなるにつれて沖に出てゆくクルマエビを漁獲できない」との声を水試に陳情、シラサエビ種苗生産を要望したのがきっかけ。

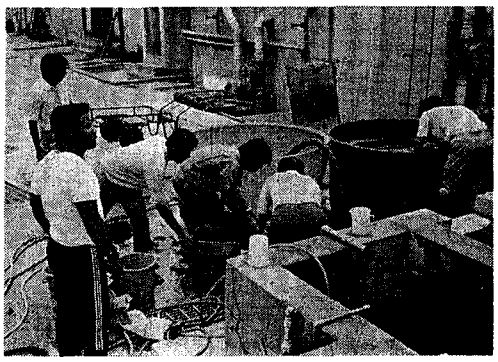
その結果、テストケースとして兵水試が種苗生産に着手した。

親エビは七月上旬室津漁協で漁獲された二〇〇匹で一五〇万匹の種苗が生産された。

室津漁協担当者も「はじめてのケースで、親エビさがしに苦慮、水試で勉強しました。」とか。

八月上旬に放流される種苗は今年の暮には商品サイズになり、キロ八、〇〇〇円以上で販売されるものと同連合会では期待している。

これが成功すれば来年以降も継続実施されるように関係機関に強く働きかけてゆく計画。



配布されるシラサエビ種苗（水試で）

第一回は炬口で

七月二六日早朝から洲本市炬口海岸で地びき網漁が行なわれた。

集まった子供達は二〇〇名。淡路漁青連の指導でさっそく網が引かれた。

始めて手にする地びき網に子供達は感激、自然にかけ声があがってくる。

一五分程であみはひきあげられたが、ヒイラギ、アジ、サバ、コノシロがはねまわり、まずまずの大漁。

子供たちもこれには大満足。夏休みの最大のプレゼントになったとか。

子供たちの歓声でにぎわう浜（炬口で）

資源増強に青年部たちあがる

自分達の手で育てて漁ろうとヒラメの中間育成試験が富島漁協でスタートした。

このヒラメは県水試が試験的に生産したもので、一、〇〇〇尾が六月二一日に同漁協に配布された。

二cmの稚魚は明石海峡をわたって二五分で漁協に到着。活魚槽に入れられ、飼育が始まった。

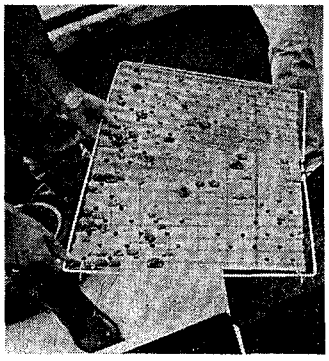
組合員の手で大事に運ばれた種苗は輸送づかれもなく元気に育っていたが、活魚槽での生活環境があわず半数近く死んだ。

同漁協4Hクラブでは、残った半数を海に出し、こわり式飼育に変換。1.5m×2.5mのもじあみの底面を砂につけて種苗を入れたところ、元気を回復。現在のところ順調に成育し、七月二〇日には5.5cmになった。

同漁協と4Hクラブでは大きく育った種苗を放流する計画とか。

担当者の話では「今年の結果次第では来年以降も続けてゆきたい。」とのこと。

この事業実施のせいか浜では小さな魚を大事にしようと漁業者自身に資源保護の思想が普及してきた。



放流されたアワビ稚貝

家島漁協ではアワビを

自分達の力でアワビ資源を増やそうと、三年前より地道な研究をつづけている家島漁協青年部が、アワビ稚貝一、〇〇〇個を放流している。

このアワビは昨年、浜坂町漁協居組支所から譲り受けたもので中間育成がつづけられていた。

成長のよかったアワビ稚貝一、〇〇〇個は四月に放流されたが今回は成育のおくれていたもの。

放流は青年部員の手で七月二五日家島本島、天神鼻地先で行なわれた。

〝大きく育て〟と願いをこめてアワビ稚貝はひとつひとつ部員の手で青い海に放たれていった。

今後、同青年部ではアワビ稚貝五、〇〇〇個を購入し、中間育成後、放流する計画。また、アワビ人工採苗計画も企画中とか。

数年後には、家島周辺をアワビの宝庫にしようと、青年部では意気盛かん。

但馬と内海の合作で

イタヤ貝養殖がスタート

鳥取県の民謡〝貝がら節〟で有名なイタヤ貝を内海でも育てようと試験研究がスタートした。

この貝は暖流域に生棲する二枚貝で、肉は美味で貝がらでは貝杓子をつくって販売できるとか。隣県鳥取では有用資源としてイタヤ貝養殖が研究されている。

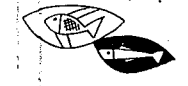
試験養殖をスタートするのは内海の淡路町、北淡町御津町、家島町の四地区。

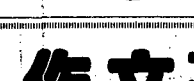
種苗は但馬・竹野浜漁協青壮年部が天然採苗したもので、八月六日に内海各地に運ばれた。

平均二、七cmの稚貝はようちんかご等に入れて養殖される。来年の六月頃には一〇cm位に成長し、商品として出荷されることとなっている。

今年は試験段階で種苗数も七、〇〇〇個と少ないが今年の結果次第では内海でも大々的に実施してゆく方針とか。

日本海と瀬戸内海をもつ兵庫県――この養殖が成功すれば、県の特性を生かした養殖ができると、担当者の期待をかけるところが大きい。





海の子 作文募集

全国漁村の小・中学生のみなさん

毎日の暮らしの中で、限りない海や漁村への愛情や、漁業に精を出しているお父さんたちの姿が、みなさんの目にどのようにうつり、それをどのように受けとめているかを作文にまとめ、ふるって応募くださるようお願いいたします。

● **課題**
暮らしの中で身近に感じていることを題材として文題は自由とします。

● **応募資格**
小学校または中学校に在学している児童・生徒

● **枚数・大きさ**
1部　小学校1年生～3年生（400字詰市販原稿用紙2枚以内）
2部　小学校4年生～6年生（400字詰市販原稿用紙3枚以内）
3部　中学生（400字詰市販原稿用紙4枚以内）

● **応募方法**
・いままでにどこにも応募しない作品で、ひとり1点に限ります。
・作品には必ず①題名、②氏名・性別、③学校名・学年を記入して、もよりの漁業協同組合（漁協婦人部）に提出してください。

● **締切り日**
昭和55年10月30日

● **賞**
・全国漁業協同組合連合会会長賞
・農林中央金庫理事長賞
・全国漁協婦人部連絡協議会会長賞いずれも賞状と副賞を贈呈します。

● **問いあわせ先**
・各道府県漁協婦人部連絡協議会
・全国漁協婦人部連絡協議会

主催　全国漁協婦人部連絡協議会
後援　全国漁業協同組合連合会
　　農林中央金庫

心がまえと準備が被害を防ぐ

―台風情報をよく聞こう―

"今年も、台風の季節がやってきました。

昨年、兵庫県下に影響を与えた台風は一六号（九月三〇日）と二〇号（一〇月一八日）の二つでした。この二つの台風で、死者一人、負傷者一四人、家屋や田畑等計三四億円の被害をもたらしました。

神戸海洋気象台の長期予報では、今年、本土に影響を与える台風の発生は平年並み（二個ぐらい）の見込みといわれています。しかし、台風は、数に限らず、その規模によって被害程度が変ってきます。台風の接近は、新聞、ラジオ、テレビ等で報道されます。注意報や警報などの気象情報をよく聞き、台風の進路を確認することが必要です。とくに台風に備えて、次の点に留意して行動しましょう

〈災害の発生が予想されるとき〉

・浸水しやすい所では、避難場所と安全な避難コースを覚えておきましょう。

・窓ガラス、雨戸、立看板テレビアンテナ等壊われやすいもの、飛ばされやすいものは、補強や取りはずしをしておきましょう。

・非常持ち出し品は、いつでも持ち出せるようにとりまとめておきましょう。

〈避難の指示が出たとき〉

・市町の係員や警察官から避難の指示が出た場合は、必ず指示どおり避難してください。「まだ大丈夫」といった安易感は絶対禁物です。

・家を出るときは、火を完全に始末しておきましょう

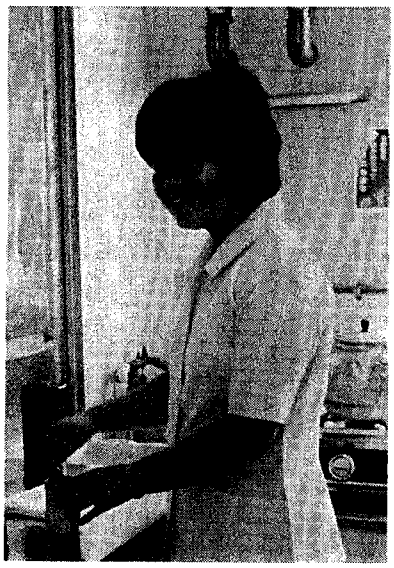
・夜の避難は、とくに落ちついて行動し、けがをしないように気をつけましょう

・飛んでくる物から身を守るため、長そでシャツ、スラックスを身につけ、頭には座ぶとん等をかぶるようにしましょう

自然の力は、はかり知れないエネルギーを持っています。しかし「備えあれば憂いなし」のたとえどおり一人一人が台風のこわさを良く認識し、日ごろから防災に対する心構えと準備が大切です。この心構えと準備が、ご家族の安全を守り被害を最少限にくい止めることになるのです。

◆…漁協ちょっとのぞきみ…◆

兵漁連　河井美恵子さん



漁連にはいって五カ月の河井さんは今年で芳紀一九才。

生来の明るさと若さあふれるバイタリティーで職場の人気もの。

仕事はのりの販売だそうですが「お茶くみ」も仕事のひとつとか。

「仕事のしやすい環境づくりも私の仕事のひとつ」と〝翔んでる女〟の時代にちょっぴり救われる男たちもいそうです。

○

満員電車にゆられて六〇分、おしつぶされそうな経験をしたあとは、家でゆっくり〝レコード鑑賞〟

「今は、松山千春……メロディーを聞いているとすっかり夢ごこち」だとかで、ニューミュージックの鑑賞力もしっかりしたもの。

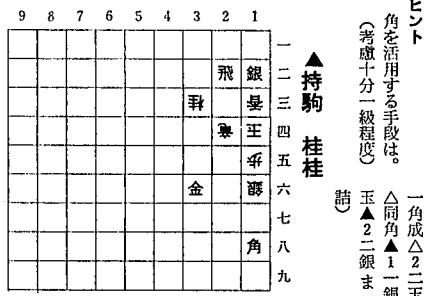
○

まだちょっぴり甘えたい年頃の女の子でした。

詰め碁・詰め将棋

（詰め将棋）　八段　佐瀬勇次

ヒント　角を活用する手段は。（考慮十分一級程度）



▲持駒　桂桂

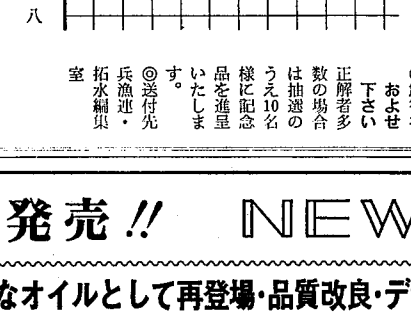
（解説）平凡に3二銀成は同玉5四角成、3三玉で広くなり詰みません。3一飛成は同玉に4一角成を発見してこそ断行できる手段です。これを同銀は2一金打まで。2二玉に3二馬から1一銀打が正しく、3三玉は3四金打があります。

詰め将棋解答（七月号）

▲3一飛成△同玉▲4一角成△2二玉▲3二馬△同角▲1一銀打△1二玉▲2二銀まで（九手詰）

詰め碁　九段　橋本宇太郎

黒先です。黒好手筋で白を殺して下さい。（考慮十分初段程度）



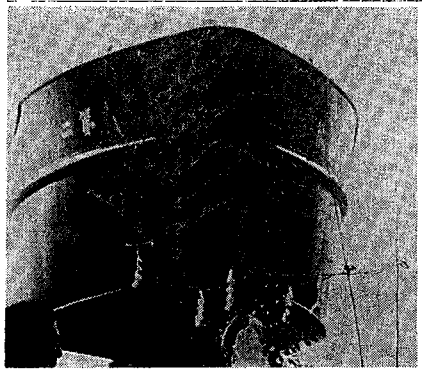
◎解答をおよせ下さい

正解者多数の場合は抽選のうえ10名様に記念品を進呈いたします。

◎送付先　兵漁連・拓水編集室

新生第2漁連丸が進水

――給油能力も3倍に



進水式をむかえた第2漁連丸

新生第2漁連丸が6月、橋立造船舞鶴工場で竣工、これの進水式が七月二三日関係者が出席し盛大に催された。

航行の安全を祈願したあと一一時三〇分第2漁連丸はしずかに進水、船体を舞鶴湾に浮かべた。

海上給油を一手にひきうけていた旧第2漁連丸は老朽化が進む一方、給油能力も一〇㎘と低く、おもに柴山港内の給油作業に従事していたが、同船の進水により引退することとなる。

新生第2漁連丸は一五・六九トンと大型化し、給油能力も三〇㎘とグートアップした。航行海域も沿岸航行が可能となり、津居山港から浜坂町居組港までの給油体制が一段と充実するものと関係者筋では期待している。

同船は各種検査をうけたあと七月二九日に柴山港に回航、同基地で一般公開されたあと給油作業をスタートした。

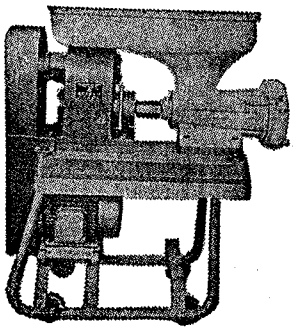
81ポートピア

予約券の申込はお早目に

「人間性と緑あふれる国際色豊かな」街づくりをテーマに、神戸港沖に「21世紀の海上都市ポートアイランド」が誕生、これを記念して来年三月にポートピア81が開催されます。

博覧会の前売券の予約が兵漁連で受け付けされています。申し込みはお早目にお願い、します。

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで



養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

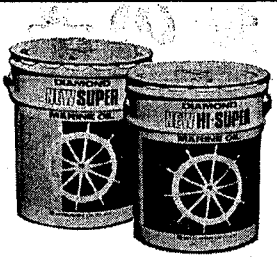
（御一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所　神戸市長田区水笠通5番5号　TEL 代表神戸(078) 921-1527

新発売!!　NEW

タフなオイルとして再登場・品質改良・デザイン一新

ダイヤモンド　NEWハイスーパーマリン 10W/30・20・30・40
NEWスーパーマリン 20・30・40



特徴
Ⓝ燃比が一段と向上
Ⓔエンジン始動性抜群
Ⓦ水に強いオイル
（荷姿）200ℓドラムおよび20ℓペール
（ダイヤモンドニューハイスーパーマリンのみ4ℓ缶併売）

ご注文は、組合を通じて。
〝系統利用で漁業経営安定〟
兵庫県漁連